

老人保健特別会計歳入歳出予算の概要

平成22年度老人保健特別会計歳入歳出予算の総額は、100万円で、前年度の1,300万円に比べて1,200万円の減額となり、その伸率は92.3%の減となっています。後期高齢者医療制度へ移行後3年目となることを踏まえ予算計上を行っています。

歳入については、支払基金交付金は27万円で前年度に比べ539万円の減（対前年度伸率95.2%減）、国庫支出金は18万円で350万円の減（同95.1%減）、県支出金は5万円で87万円の減（同95.1%減）、一般会計繰入金は50万円で224万円の減（同81.9%減）となっています。

歳出については、医療諸費が54万円で前年度に比べ1,064万円の減（同95.2%減）となり、歳出全体の54.2%を占めています。

老人保健特別会計

○ 最近年度予算額

(単位:千円)

年 度	歳入歳出予算額	平成18年度を100とした指数	対前年度伸率
平成 18 年度	2,933,000	100.0	0.4%
平成 19 年度	2,951,000	100.6	0.6%
平成 20 年度	373,000	12.7	△ 87.4%
平成 21 年度	13,000	0.4	△ 96.5%
平成 22 年度	1,000	0.0	△ 92.3%

○ 前年度対比表

(歳入)

(単位:千円 %)

款 別	平成 22 年度		平成 21 年度		比較増減	対前年度伸率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1. 支 払 基 金 交 付 金	273	27.3	5,655	43.6	△ 5,382	△ 95.2
2. 国 庫 支 出 金	180	18.0	3,683	28.3	△ 3,503	△ 95.1
3. 県 支 出 金	45	4.5	921	7.1	△ 876	△ 95.1
4. 繰 入 金	496	49.6	2,735	21.0	△ 2,239	△ 81.9
5. 繰 越 金	1	0.1	1	0.0	0	0.0
6. 諸 収 入	5	0.5	5	0.0	0	0.0
歳 入 合 計	1,000	100.0	13,000	100.0	△ 12,000	△ 92.3

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

(歳出)

(単位:千円 %)

款 別	平成 22 年度		平成 21 年度		比較増減	対前年度伸率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1. 総 務 費	6	0.6	119	0.9	△ 113	△ 95.0
2. 医 療 諸 費	542	54.2	11,180	86.0	△ 10,638	△ 95.2
3. 諸 支 出 金	2	0.2	1,001	7.7	△ 999	△ 99.8
4. 予 備 費	450	45.0	700	5.4	△ 250	△ 35.7
歳 出 合 計	1,000	100.0	13,000	100.0	△ 12,000	△ 92.3

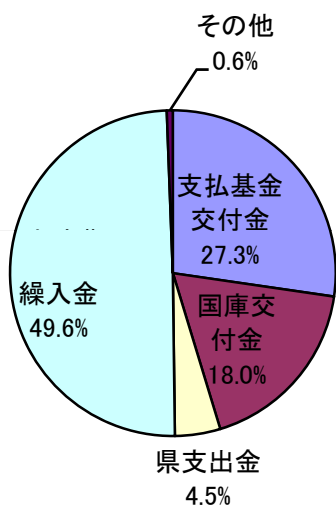
※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

○ 医療費の推移

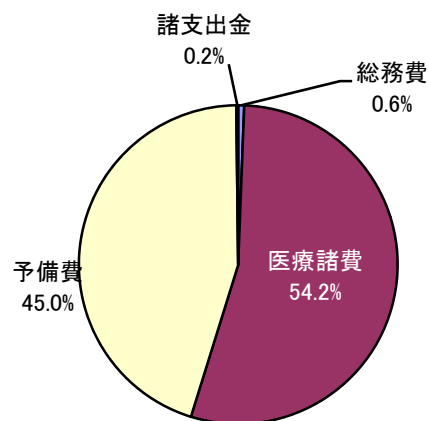
年度	受 給 者 数 (人)	医 療 費 (千円)	対前年度伸率(%)	一人当り医療費 (円)	対前年度伸率(%)
18	3,938	2,907,045	0.5	738,203	6.3
19	4,057	2,912,719	0.2	717,949	△ 2.7
20	3,710	369,300	△ 87.3	99,542	△ 86.1
21	3,683	11,140	△ 97.0	3,025	△ 97.0
22	3,683	540	△ 95.2	147	△ 95.1

※平成21年度・平成22年度の受給者数については、平成20年3月の数値です。

歳入の構成比



歳出の構成比



※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

